

佐稲作会議第9号
令和7年5月30日

佐賀県稲作経営者会議 会員 各位

佐賀県稲作経営者会議
会長 七島 満好
(公印省略)
佐賀県稲作経営者会議青年部
部長 江頭 幸一郎
(公印省略)

第49回若い稲作経営者研究会夏季研修会の開催について

当会議の事業推進については、日頃よりご協力いただき厚くお礼申し上げます。
さて、次世代の日本の稲作農業を担う青年組織として、より一層の連携を図るため、標記研修会が別添要領のとおり開催されます。
つきましては、会員各位はもとより後継者の参加についてご案内いたします。
なお、参加を希望される方は6月13日(金)までに下記により事務局へメールもしくはFAXにて連絡ください。
また、会員以外の若手農業者へも是非ご案内いただきますようお願いいたします。
(別紙案内文書をご利用ください。)

氏名	研修会	懇親会	備考

佐賀研修会

○を記入してください

佐賀県稲作経営者会議(佐賀県農業会議)
佐賀市八丁畷町8-1 TEL: 0952-20-1810 FAX: 20-1818
MAIL: sanoukai@sanoukai.jp 担当: 稲富・草場

佐稲作会議第9号
令和7年5月30日

佐賀県稲作経営者会議青年部 会員 各位

佐賀県稲作経営者会議
会長 七島 満好
(公印省略)
佐賀県稲作経営者会議青年部
部会長 江頭 幸一郎
(公印省略)

第49回若い稲作経営者研究会夏季研修会の開催について

当会議の事業推進については、日頃よりご協力いただき厚くお礼申し上げます。
さて、次世代の日本の稲作農業を担う青年組織として、より一層の連携を図るため、標記研修会が別添要領のとおり開催されます。

つきましては、青年部会員の参加についてご案内いたしますので、参加を希望される方は6月13日(金)までに下記により事務局へメールもしくはFAXにて連絡ください。

なお、青年部会員については、参加費用の研修費 6,500 円を青年部活動費より助成いたします。

また、会員以外の若手農業者へも是非ご案内いただきますようお願いいたします。
(別紙案内文書をご利用ください。)

氏名	研修会	懇親会	備考

佐賀研修会

○を記入してください

佐賀県稲作経営者会議(佐賀県農業会議)
佐賀市八丁畷町8-1 TEL: 0952-20-1810 FAX: 20-1818
MAIL: sanoukai@sanoukai.jp 担当: 稲富・草場

佐稲作会議第9号
令和7年5月30日

各位

佐賀県稲作経営者会議
会長 七島 満好
(公印省略)
佐賀県稲作経営者会議青年部
部長 江頭 幸一郎
(公印省略)

第49回若い稲作経営者研究会夏季研修会の開催について(案内)

当会議の事業推進については、日頃よりご協力いただき厚くお礼申し上げます。
さて、次世代の日本の稲作農業を担う青年組織として、より一層の連携を図るため、標記研修会が別添要領のとおり開催されます。

つきましては、県内若手農業者の参加についてご案内いたします。

なお、参加を希望される方は6月13日(金)までに下記により事務局(佐賀県農業会議)へメールもしくはFAXにて連絡ください。

また、佐賀県稲作経営者会議青年部に仮入会していただければ、研修費は会員扱いの6,500円となります。

○を記入してください

市町名(所属)	氏名	研修会	懇親会	連絡先

◎佐賀県稲作経営者会議青年部に仮入会 する ・ しない

※仮入会の場合、佐賀県稲作経営者会議の年会費は発生しません

佐賀県稲作経営者会議(佐賀県農業会議)
佐賀市八丁畷町8-1 TEL: 0952-20-1810 FAX: 20-1818
MAIL: sanoukai@sanoukai.jp 担当: 稲富・草場

第49回若い稲作経営者研究会夏季研修会 開催要領

1. 趣 旨

昨年度から現在に至り、米不足や価格高騰等、社会問題として米を取り巻く情勢は大きく注目を集めている。

主食用米の収穫量について、令和6年産は679万2千tと示されており、前年対比で+18万2千tと生産量は増えている一方で、流通不足を背景に政府備蓄米が放出されており、なお米流通の不足感が強い状況が続いている。これは、流通の多様化が一部要因とも言われているが、水稻収穫量調査の結果や発表作況について、現場作況の実感と大きなギャップがあると会員から多く声があがっているところ。

こうしたなか、米収穫量調査や作況指数の仕組みについて学び、今後の農業経営に活かすため「第49回若い稲作経営者研究会夏季研修会」を開催する。

2. 主催等

主催：全国稲作経営者会議

企画：全国稲作経営者会議青年部

後援：(一社) 全国農業会議所

ビジネスパートナー：朝日アグリ株式会社、株式会社クボタ、シンジェンタジャパン株式会社、スガノ農機株式会社、有限会社北陸企画サービス、ヤンマーアグリジャパン株式会社、株式会社JA三井リース、株式会社サタケ、井関農機株式会社、株式会社丸山製作所、住友化学株式会社、全国農業協同組合連合会、BASF ジャパン株式会社、バイエルクロップサイエンス株式会社、株式会社NEWGREEN、三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社、株式会社クリスタルライス、ウォーターセル株式会社、木徳神糧株式会社、北興化学工業株式会社、株式会社フェイガー、幸福米穀株式会社、株式会社エバートン

3. 開催日程

令和7年7月11日(金)

4. 対 象

会員（概ね45歳以下の若手稲作経営者中心）、賛助会員、関係機関

※ホテルの宿泊場所は各自手配でお願いいたします。

5. 研修・宿泊場所

グランデはがくれ 〒840-0815 佐賀県佐賀市天神 2-1-36

6. 内 容

時間	内容
12 : 00	受付開始・簡易ブースでの交流
13 : 00 (10 分)	開会・あいさつ
13 : 10 (20 分)	情報提供「農業機械等による収量把握の実態」 農業機械等による収量把握の仕組みについて解説 ① ヤンマーアグリジャパン株式会社 ② 井関農機株式会社 ③ 株式会社サタケ ④ BASF ジャパン株式会社 ※各社 5 分程度
13 : 30 (60 分)	講演「水稻収穫量調査・作況指数について」(仮) 農林水産省大臣官房統計部 生産流通消費統計課 (普通作物統計班) 課長補佐 瀬戸口 大輔 氏
14 : 30 (20 分)	休憩・簡易ブースでの交流
14 : 50 (80 分)	グループワーク「水稻収穫量調査・作況指数に関する生産現場の実感について」 <進行方法> 1 グループ 8 人程度で約 8 グループ作り、水稻収穫調査・作況指数の仕組みについての講義を受けて、収穫量調査や作況指数に関すること全般や現場の実感、調査手法に対する意見等について、グループ討議を行います。(35 分) 1 グループごとに討議した結果のまとめ内容(新たな気づきや学んだうえでの農水省への意見等)を発表いただき、その後農水省から意見に対する返答をしていただく。【1 グループ 5 分を想定】
16 : 10 (20 分)	休憩・簡易ブースでの交流
16 : 30 (15 分)	事例報告「佐賀県稲作経営者会議より」
16 : 45 (45 分)	賛助会員からの情報提供
17 : 30	研修会閉会

17:45 (120 分)	交流会開会 ※同ホテルにて開催
19:45	交流会閉会

※2日目はございません。

※青年部役員は11時半に集合し、ランチミーティングを実施

7. 参加費用

(1) 研修費

①会員・賛助会員・事務局 6,500 円

②会員以外の関係者 9,000 円

(2) 懇親会費 7,500 円

8. 留意事項

(1) 宿泊場所は各自手配をお願いいたします。

(2) 1日目の昼食は各自で済ませたうえお集まりください。

全国稲作経営者会議事務局 青木、日高
〒102-0084 東京都千代田区二番町9番地8
中央労働基準協会ビル2階
TEL: 03-6910-1124
メール: inakeikaigi@nca.or.jp

■研修場所案内図

ホテルグランデはがくれ

〒840-0815 佐賀県佐賀市天神 2-1-36

TEL: 0952-25-2212



【駐車場】

約170台

入庫から12時間分は無料。12時間超過後は、1時間あたり200円

※駐車券はフロントの横の機械に通すようお願い申し上げます。